

博物館と社會教育

公民館と一体となるべき博物館

宮 榮
み や えい

いた欧米の制度と比しては未だその受売りの段階に在りといえよう。博物館も亦同じく社會教育施設でありながら、学校や社會は依然隔たりにあり、またまた狭い範圍の尙古趣味や單なる觀光のための利用施設の域を脱しなない現状である。これは發達主体の側にも偏見する利斥者の側にも責任がある。誰しも博物館に一度は行ってみるであらう。(私の経験で佐賀郡の某高校三年生に東京国立博物館をみた者が一名もなく、地方の博物館をみた者も二三名にすぎない例を記憶している)が二度三度となると、外來者の案内とか、特別の展覧でもなければ發達に仲々足を運ばないものである。陳列室を何回でも観望すとか、當時陳列者に氣をかける人など多くなつてゐる。館の方でもいつ行つても同じものはかり

で、又珍奇なもの、古ぼけたものはあつてもそれが現代とどんなつながりがあり、これを如何に学びとるべきか、といった新しい感覺を喚起してゐないといふ有様では、社會に敬遠され、いわゆる「博物館の存在」の言葉が表はれる様な時代おくれの代名詞となるのも當然である。各調これまでの博物館といへば、



写真は長岡科學博物館の寫真展室の一部。同館の展示品類は三千点を有し、日本一と誇つて居る。学校関係、社會教育関係に提供している。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。歐米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。歐米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。



写真は長岡科學博物館の寫真展室の一部。同館の展示品類は三千点を有し、日本一と誇つて居る。学校関係、社會教育関係に提供している。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

に對し「館長の割合であるのに我國では一票一館すらもないもの多し。欧米では一場労働者や婦人事務員等の為の夜間労働大学でも美術や彫刻、工芸の講義があり、昼間の肉休労働の疲労にかかり、主婦や勤人は言物や刺繍の途中に氣絶した館の二室をのぞいたり、説明に耳を傾ける風景も珍しくないといふ。

多角的な運営と組織

北方文化博物館



北方文化博物館の玄関

北方文化博物館は現存する県内博物館の中で最も早く生まれ、その内容も特色あるものである。その発足は終戦の年、昭和二十年の十月である。

り、新潟のもの近代美術館として、當時は越後出身の美術家佐伯の近作を陳列し、時折明治以降の美術品の鑑賞展を併せて開催する外、各文化団体と連携して鑑賞展、研究会を催し、又茶席(二階)は當時開放して、各流の茶会が催され開かれていた。新発田のものは勝頼「清水園」内に附設され、安土桃山文化館として、清水園の歴史と関連ある時代の書品、史料、美術品を陳列する計画で、清水園は新潟市の二月に保存する庭園及建物を含む面積四千六百坪の勝蹟で、澤王堀口侯の遺構として、古来清水谷御殿と称された。建物は寛文六年の建造で、足軽長屋と共に文部省より重要美術品に指定されたものである。庭園は寛文年間東洋流の茶人で、藩府の御庭方であった、東家御の築庭によるもので、中央の一大泉池に清冽な水を養え、手々たる老樹に團まれた、幽邃で典型的な園遊式庭園として北陸随一と称されている。明治維新時附属したままの姿であったのを、数年前より復原に着手し、県内有数の勝地として公開する旨も決まっていたであろう。又園の一隅に約三百年前の旧民家アトシヨシを兼ねて訪れる者、大

数吸収することはわずかしいが、一部の来ぬもあり、休日等は多数都座を離れ静かな自然環境とにまぎわることが多く、学生の団体は面白い。宏大な草葉のくもし山す雰気の入るのも、この折りに多い。とは、芸術鑑賞に文部人士のレクレーションにまことに好適で、のレベルを低くして、民衆に迎合都市、農村を問わず、公民館、P T A、婦人会等の主催する団体がではつこしむべきことである。芸

縣下博物館一覽表

- 登 録
- 長岡市立科学博物館 (長岡市悠久山公園内)
- 日本互道社如尼蔵博物館 (長岡市観光院町)
- 北方文化博物館 (中蒲原郡横越村大字沢海)
- 貝能園茶道美術館 (刈羽郡高柳村大字岡野町)
- 直江津水族館 (直江津市直江津海岸古名浦)

施設

- 佐波頌物園 (佐波郡羽茂村)
- 新潟県立科学技術博物館 (新潟市白山公園内)
- 積雪博物館 (長岡市学校町新工業部内)

同種施設

- 相馬御風記念館 (糸魚川市)
- 前島密記念館 (中頸城郡津有村)
- 寺泊水族館 (三島郡寺泊町)
- 柏崎水族館 (柏崎市)
- 糸魚川水族館 (糸魚川市)

各地にまたがる野の人々が多いので、財団の資力と規模がある。計画は色々だが、実行は遺憾ながら断不能である。この博物館の悩みがあり、活動の物足りなさを生ずるのである。現在において之を克服する途は、一般市民の積極的参加と、支援の他にはない。本県にも既に文化財保護条例が制定され、県民も多数指定を命じ、県民の文化的関心も一段と高まりつゝある今日、近き将来又は協力する、発掘あるいは調査研究事業等、これ等に要する経費は予算以上に多額である。しかも国、県等の補助は私設博物館には一文もない。わずかに北方文化博物館理事伊藤成夫氏(伊藤成夫氏)の

鳥類展示は日本一

長岡科学博物館

一、沿革
長岡市立科学博物館は長岡市の東方悠久山公園内に在って昭和二十六年八月一日に設立したものである。最初新潟野鳥愛護会(会長伊藤博夫氏)の提唱により悠久山公園の野鳥の生息状態を調べたところ、まれに見る野鳥の数多き地域であることが発見された。果してこれを認め野鳥愛護会に指定して保護することと決定され、今園唯二つのモデル博物館の一つとして存在している。なお市民の志に賛同して居る野鳥の標本を展示し、野鳥愛護の精神を涵養す昨年度示す、研究者の増設、動物飼育室の他八〇余を、増設し

北方文化博物館の玄関
館として親しまれた、新潟郡十博館となり、心ある人々を懐懐させたのであるが、終戦と同時に民間有志により、困難の中に財団法人が組織され、その事業として開設されたのが、この北方文化博物館の一連の施設である。しかもこの計画には、アメリカ軍政部の援助が関係者に少なぬ熱烈な支援を寄せたことはいずれも、
この館の施設は、本館二つの分館それに復原保存すべき勝蹟が一つ、とよ成り、各々位置と環境の特色に依り独立しているが、本館を中核とした、いわば三位一体をなして運営されている特色ある博物館である。
本館は清泉特有の大地主、伊藤家の大邸宅が開放されたもので、三千坪の庭園と二千坪の建物を有し、明治二十年頃の建築で城郭を思わせる門構、豪壯な建物の礎成、宏大な堂々の屏風等は明治初期に発達して、大正、昭和と隆盛を極めた、城後大地主体制を示す好個の政様、保存を遂げられているものである。
館内の陳列は常時は、世界古美術(室町時代迄)考古資料、民俗資料、民芸品を宏く、静寂な環境の中に鑑賞する特色あるもので、なお春秋二回を原物として、特別展を開催し、中央及地方の二級品を紹介して、特定のテーマにのめ美術の鑑賞と、美術史の系統的理解に資しているが、いずれも東京国立博物館、芸術大学、各大学等との出展を受けたものでは、あられぬものも多い。
分館は新潟市と新発田市とにある。新発田のものは近代美術館として、當時は越後出身の美術家佐伯の近作を陳列し、時折明治以降の美術品の鑑賞展を併せて開催する外、各文化団体と連携して鑑賞展、研究会を催し、又茶席(二階)は當時開放して、各流の茶会が催され開かれていた。新発田のものは勝頼「清水園」内に附設され、安土桃山文化館として、清水園の歴史と関連ある時代の書品、史料、美術品を陳列する計画で、清水園は新潟市の二月に保存する庭園及建物を含む面積四千六百坪の勝蹟で、澤王堀口侯の遺構として、古来清水谷御殿と称された。建物は寛文六年の建造で、足軽長屋と共に文部省より重要美術品に指定されたものである。庭園は寛文年間東洋流の茶人で、藩府の御庭方であった、東家御の築庭によるもので、中央の一大泉池に清冽な水を養え、手々たる老樹に團まれた、幽邃で典型的な園遊式庭園として北陸随一と称されている。明治維新時附属したままの姿であったのを、数年前より復原に着手し、県内有数の勝地として公開する旨も決まっていたであろう。又園の一隅に約三百年前の旧民家アトシヨシを兼ねて訪れる者、大

地主の御屋敷御殿を兼ねて杖をかりの巻にすることを主眼で博物館友の引く田舎の老人連等、其の利己の多量面であることも亦特色の一つも活動も不十分である。しかもその朝に特別展の折りは遠方の会合内容は知名人は殆んどなく

愛好者の方々が同調共鳴され、な若二島郡原田町近藤勲次郎氏御遺族の篤志により同氏の考古学資料の贈進な、蒐集品の富麗出入れがあったので、蒐集品の富麗出入れに発展して行ったのである。
専ら文部省並に県教育委員会との協同ととなり、地方博物館として保護するものと決定され、今園唯二つのモデル博物館の一つとして存在している。なお市民の志に賛同して居る野鳥の標本を展示し、野鳥愛護の精神を涵養す昨年度示す、研究者の増設、動物飼育室の他八〇余を、増設し

なり、益々発展が期待されるのである。

二、内容

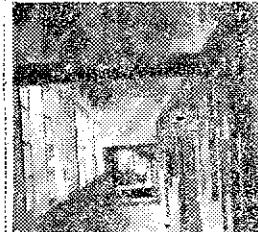
長岡科学博物館は自然科学、人文科学の資料を網羅した総合博物館として居るのであるが、現在のところ鳥獣部、昆虫部、考古部の四部部を備え、各々の部に屬する資料を収集展示し、あつては整理して居るのである。

(一) 鳥獣部 鳥類は鳥籠の所在地松久山公園が長野県湯野郷林として指定を受けて居るだけに、夏鳥は勿論のこと、冬鳥、留鳥、渡鳥、迷鳥等殆ど全部約三〇〇〇〇点の標本を有し、四季に応じて展示替えして観覧し快く盛り、種類表示としては日本一を誇つて居る。

(二) 植物部 各種の脂葉その他標本約六、〇〇〇点を有し、郷土博物館の特性を發揮する爲に限下一田のフローラを判断せしむることに努力し、一方として中小学校の児童生徒の理科教育の教材を精選して、これらが発展的に一般參觀者の理科知識を涵養するの目ざかるものは、植物の分類と分布とを重んじて考え、展覧にも適用して居る専門家を各々に依つて標本の採集に努力して居る。

(四) 考古部 故近藤勲次郎氏の貴重なロンドンコンをその集りとして、また中央の斯道の権威者を招聘して、一般公開講演会を開催するに當り、高等部階梯道跡の出土品、研究室内の開放、これも昨年増築した建物内に植物、昆虫、鳥類、考古の四部門をそれぞれ研究室を設け、米の研究会に奉仕する予定である。

(三) 教育活動 博物館は各種の資料を成るべく多く所蔵し、之を展示し、來館者の観覧に供するだけでなく種々の教育活動を行ない、一般社会民衆の對し博物館が奉仕し、学校教育の補助施設と利用すべき博物館の事業を計画して実行して居る。其の主たるものは、(一) 講習、講座、講演会、(二) 学校の生徒の博物館に対する学習、(三) 知識の向上普及を目的とした各種の向上普及を計り、(四) 日曜博物館を企画して居る。



長岡科学博物館の研究室と正面玄関

(五) 講習、講座、講演会 学校の生徒の博物館に対する学習、知識の向上普及を目的とした各種の向上普及を計り、(六) 日曜博物館を企画して居る。今年には植物及び昆虫に主眼を置き、実物探集、標本作製まで

者を遣いて研究を行つて居る。(七) 資料の貸出し 学校の理科あるいは社会科の単元の中間に關連する部について、その資料を貸出して学習の便に供したり、公民館の講座あるいは社会教育團體の活動に對し資料を貸出し、その研究に奉仕する予定である。館者の研究に 函館支会、これは限下一田では応ずると共に、長岡市及び近郊の青少年及成人がそれぞれ一定の會費を納めて、館券券(無料入館券)を發行し、熱心なる博物館研究者の利用に資すると共に、植物昆虫の採集と探集會等も行つて居る。(筆者は長岡科学博物館館長川上善氏)



目指す新しい型の博物館

積雪科学館

雪は吾國である。日本では勿論、雪の降らぬ国と比べてその論世界でも雪の深い国である。従って積んたくなるものがある。雪は吾國である。日本では勿論、雪の降らぬ国と比べてその論世界でも雪の深い国である。従って積んたくなるものがある。雪は吾國である。日本では勿論、雪の降らぬ国と比べてその論世界でも雪の深い国である。従って積んたくなるものがある。雪は吾國である。日本では勿論、雪の降らぬ国と比べてその論世界でも雪の深い国である。従って積んたくなるものがある。

二十年の方折折新聞種となる現住民俗資料を収集することに、その物の必然性、形そのもの踏を模する手法を講じて居るが、新しい科学上の関連性があることを、言ひ換えると過去の科学の遺蹟であり、その応用である。

本館では過去に知られることなく、新しい科学を基にして、新しい方法を講じて、新しき方法による研究が、同時に過去に於いて生活に資するものである。即ち物そのものである。形そのものでもなく、その形は、

本館の目的は第一に社会教育の促進に在り、併せて來館された學校數は三六〇校、二、六〇〇名、其他青年團、婦人會等の団体數七二団体、七〇〇名、一般の場合に加入する約六、一三〇名であり、これを包み込んで居る。この沿革は上流や下流の積雪が半米に満たない時でも、中流では四米近く積雪する、そして上流や下流では見られぬ中門道が中流の深雪地に行つて次第に発達し、深山地方では急関にも裏にも中門のある複雑な曲線の集積雪を認むことになる。

今後の考え方は、今も變りはないのであり、各學校と緊密な連絡を取り社会教育に際しては、校外教室として、亦一般社会人の研修の場として大いに活用されたいと切望して居る所である。(筆者は直江津水族博物館館長長井成雄氏)

直江津水族博物館の全景



直江津水族博物館の全景

社会教育と観光を目的
直江津水族博物館



教授 高橋 教

去る七月より県教育委員会で行った文化財総合調査の建築班に采集された東大教授藤島泰治博士は八月三日より新発田城及び近郊の民家を調査され、其間簡めに応じ隨筆一篇を寄せられた。博士は、象牙の塔ばかりではなく文化財専門審議委員第二分科会長として、又法隆寺国宝保存委員として広く文化財行政面の重責にある。最近は法隆寺金堂のシロ泥を以て虫鼠派の学者と大論争をされた話も有名である。博士は又単に冷徹な学者ではなく、その流麗な文章や彩筆の妙技とみる如く自然を愛し美を慕う芸術家の肌合の人である。

新発田はもと博士の御令兄が営林署長のころ高校生として毎夏をここに過された縁故の地由。はからずもその郊外蓬先堂(現五十公野村公民館)のすべれた遺構と昔交らぬ風景を眼のあたりにして感あり、この一文を記したゆめられたのである。

あつた。それは三十五年間であつた山肌にはたまたま松が茂るばかりで、結局日本特有の暗い、みるるが、私は北蒲原の野を走る軍寇りりさきも白々とて、干からすばらしさが今町を包んでいた。から胸を躍らせて眺めていた。へびていた。もっと水々しいものがそこでも場本で見ると、ぬき林の立ち並ぶ水々しい白田がほしい。土の香りがほしい。寮生 野良着を穿し、すけ笠を被ったばかりでも纏へ。遠く近く黒々と活の素直とした気合も手伝つて、さき、あわさが野菜を弄っていた。した杉の森や木立に囲まれた村もそのことを切望した。そして今、その田舎びたなまの言葉でやま見える。やがて妻の間からコバル 蒲原の野に久々に水々しさを求めしいの中に、毎日町を流れるシン

その頃の新発田の町は全町へく高橋の関係で東國書ちがはじめた。今よりもずっと多かったようである。粗も今よりも多く残つていて、白々とした石垣が鮮で、そ

山菜明たはいつもの白々とした。毎暮屋はわり合いに少な

驚め、かつ、疼についたものである。松を越えて松山を遊覧とする。五十六野への松並木が一部伐採されたけれど、今でもなおあのの海音が聞えた。タンタカタンと、部説の上に聞える。

その音を頼りに呼道を行くと、黒い森に包まれた部落の中にほうと、今度あれを見て、清水谷御殿にもよい作を残した。澤宗知のすくられた感嘆には驚いたのである。

今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。

今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。

今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。

今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。今でもなる叩きはあるという。

▲日本の文明
テユメル著 読者新聞社刊
歴史の水産を信するものは、勝敗の現象というものにあまりとらわれぬ。その証拠に文明と

▲逆立ちの世の中
花菜 安治 河田書房刊
流れの中で珠玉の二貫した歴史の

▲社会変革の新構想
クロスマン編 社会思想研究会刊
イギリス労働党の生長は世界の

▲社会変革の新構想
クロスマン編 社会思想研究会刊
イギリス労働党の生長は世界の



吉井公民館、三条 図書館に図書補助

文部省社会教育施設課長より、九月一日、県社会教育課長宛に昭和二十九年度公立社会教育施設設備の増補補助について、佐渡郡吉井公民館に二十万円、三条市立図書館に二十万円を補助対象に内定した旨、連絡があった。

西頸城郡桑島町連合婦人会、教女史をはじめとして、出雲所四戸町西頸城教育庁出張所では、八主事、柳沢青海所長、初沢中學校長などであつて、暑さにもめげず、参加者は極めて一生懸命で、あきると唱歌を唱へたり、レクリエーションをしたりして暑さをまぎらして再び熱中すると言つた有様であつたが、特に、昨年の冷害対策についての結果の発表及び記録や、第一日の夜、映画館と一般映画の「晩菊」を見て、習字練習などについての討論の開催などが、注目すべき企画であつた。

盛会の西頸婦人指導講習会 注目すべき種々の企画

青年団、の五部がもたらしたが、この研究大会は岩船島村上市で開催した教育研究の集会としては各属の人々が数ヶ月に亘る組織的研究をなし、夫々の分野を全うしたことに、委員会各人は熱心に参加したことに、委員会各人の人数が多かつたという点、今までにない規模の大きいものであつた。

岩船郡 社会教育研究大会 開催

「今までにない規模の大きさ」 社会教育法が施行されてから五周年を迎える意義ある年に都市の社会教育関係者其他各属の人々が過去五ヶ年の社会教育活動の反省を積み、その集積について深く反省検討し、以て今後の社会教育振興の具体的な方策を構立する趣旨をもつて去る八月廿八日、岩船郡八幡中學校において、約六〇〇名に及ぶ委員会



第四分科

写真は同研究大会の活発な分科会風景

者のもとに社会教育研究大会が盛大に実施された。岩船郡の過去三ヶ年間の都市の問題の検査の形態であり、第二年度は地域の発展と問題の把握その大会の成果からみれば地域の各属の人の動きが少なかつたことが反省されてあり、社教団体、学校教育関係者の各属を組織したとてその研究組織を作り、それらの人々に各属別に過去五ヶ年の社会教育活動の業績を検討し、大分日までに十数回の討議を経て、夫々属別に大会翌日に開催する提案を発表し、委員会に研究の素材を提供するといふ形をとつたものである。

佐渡蓮華峰寺の 弘法堂が竣工



昨年二月着手した、佐渡 蓮華 峰寺弘法堂の修理事は去る八月二十八日、工費約一六〇万円を要した弘法堂の竣工式が挙行された。この弘法堂は重要文化財で、創立及び再建年度は不詳であるが、各種の絵巻並に須弥壇、厨子等は古様を存しており、天明末期の再建とみられて、貴重な建造物とされているものである。なお、同寺金堂の修理は来年月竣工の予定であるが、去る八月二十九日に知事、及び県議長が視察された。

第七回読書 週間近づく

あのスポートライトの光線の下からさきさきとくる、高い塔の上だ。 白い建物が照明によって輝き出している。村の人々が光の道をたどって続々とその建物に向つて歩いてゆくのが見える。「今日のひびきのさち静かに思つ……」合唄がきこえる。そう、あながれの独立建物。私たちの公民館が出来たのであるが初秋のあやみは隠れ住自治会館の一室では、きりきり音のある夢を響かせていた。



公民館主事の夢 吉崎 三吉

「この道はいつか来た道……」 あれは確かにKペーバートの扉上から響き渡るオルゴールの音なのだが、しかし私の前にはきれいに耕された田が続き、彼の森や、小川の流れる見おほえがある。 妙高、雨雲が案にけむり、眼を垂すれば米山が夕月に映えている。立っている。 処はたしかかむの村だ、あの音



自由かき

二百十日も無くすんで、村の祭の太鼓がひびく…… 平和だった昔の小学唱歌を思い出す。当初危なめられた稲作も立派のまじりとした。黄葉まじりの言葉が耳にひびく…… 一粒でも内地米が多くなると困る▲食うこたえ死すのことが、何よりも先ず国内の困難は自身の手で処理したい▲たまたまこのように何もかも国内の困難が対立の形をとっているのはどうしたものだろう。人間社会が対内的に対立していると必ず対外的にも反発する。しかもその動きが同時的だから危い▲シンメル流にいえば五・一五事件の時には満州事変がおきたし、一・二六事件の時はいわゆる日華事変がおきていた。スペインや朝鮮内乱は國際戦争の縮図であるといわれ、対内的に対立だけではあやうい折衝作用が村祭の密閉的なものは非の難くない。地域社会の対立住民の共通の方向と基礎がないからである。そこへ感情が混ればうま味く等がない▲日本のデモクラシーが問題をもっているといわれそのもそれによることを勿論。同時にテモクラシー可能なために國際環境の出来ることがある。対立のない世界では平和は不可能だ▲山米に「にがみ」をたたくくないと恐ろしい事象を思ふのである。

